



認定 NPO 法人 **ぱれっと**

＜2017 年度 資料＞

ページ	内 容
2	認定 NPO 法人ぱれっと全体概要
3	組織図及びボランティア
4	たまり場ぱれっと概要
6	おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと概要
7	えびす・ぱれっとホーム/緊急一時保護事業 しづや・ぱれっとホーム/しづや・ぱれっとホーム SS(短期入所事業) 概要
8	ぱれっとの家いこっと概要
11	ぱれっと会員のご案内
14	寄付のお願い

【その他】総合パンフレット/ぱれっとつうしんバックナンバー など



ぱれっとビル外観



しづや・ぱれっとホームリビング

【所在地】 〒150-0011 渋谷区東 2-11-4 TEL03-5766-7302

ぱれっととは就労・暮らし・余暇などの生活場面において障がいのある人たちが直面する問題の解決を通して、すべての人々が当たり前に暮らせる社会の実現に寄与することを目的とします。

認定 NPO 法人ぱれっとの概要

●活動理念

ぱれっとは、就労・暮らし・余暇などの生活場面において障がいのある人たちが直面する問題の解決を通して、すべての人たちが当たり前に暮らせる社会の実現に寄与する。

●事業内容

【創立】： 1983 年 7 月 10 日

【創立の経緯】： 渋谷区教育委員会主催「えびす青年教室」(知的障がい者の社会教育の場)のボランティア有志が、障がい者の人間関係や生活圏の拡大を目ざして創立。絵画の道具パレットの上で様々な色を混ぜ合わせて新しい色を創り出すように、色を人に置き換えて色々な人たちが「ぱれっと」で出会い、交流することで新しい可能性を生み出すことに挑戦。

●組織概要

事業名	開設	事業内容
◆たまり場ぱれっと	1983～	誰でも自由に集い新しい仲間と可能性を見つける余暇活動の場
◆おかし屋ぱれっと ◆工房ぱれっと	1985～ 2013～	クッキー・ケーキ・手作り製品の製造・販売を通して社会参加と自立を目ざす福祉作業所(就労継続支援 B 型)
◆スリランカ料理 & BEER Palette	1991～ 2012.12 閉店	障がい者・健常者・外国人が融合して最高の味とサービスを提供する株式会社ぱれっと
◆えびす・ぱれっとホーム ◆しずや・ぱれっとホーム	1993～ 2016～	知的障がい者が自立した生活を目指し地域の中で暮らす家【グループホーム、緊急一時保護事業、短期入所事業】
◆ぱれっと インターナショナル・ジャパン	1998～	国際交流・国際協力・国際支援活動の場 【Palette (スリランカぱれっと)】⇒クッキーの製造を通してスリランカの障がい者が働く就労の場 (1999 年～2009 年 8 月閉鎖)⇒2010 年より大手の製菓会社が、NPO のクッキー工房を設立。Palette のスタッフ及び通所員は、立ち上げメンバーとして雇用。
◆ぱれっとの家 いこっと	2010～	障がい者と健常者が共に暮らす家。良い人間関係の中で自立して地域に暮らす住まい方の選択肢の一つ

➤理事長：相馬 宏昭 ➤事務局長：南山 達郎

➤理事 13 名・監事 1 名・スタッフ 19 名 (有償/無償/常勤/非常勤全て含む)

会員数 431 件(2017.3.31 現在 個人、団体含む)

➤法人認証年月日：2002 年 3 月 25 日

➤活動分野：福祉の増進を図る活動/国際協力の活動/環境保全を図る活動

➤財政規模：198,685 千円 (2016 年度の実績による収入：ただし新規事業立ち上げに伴う補助金 50,284 千円及び助成金 5,000 千円、指定寄付金 2,523 千円を含む)

➤ホームページアドレス：http://www.npo-palette.or.jp ➤E-mail：palette@npo-palette.or.jp

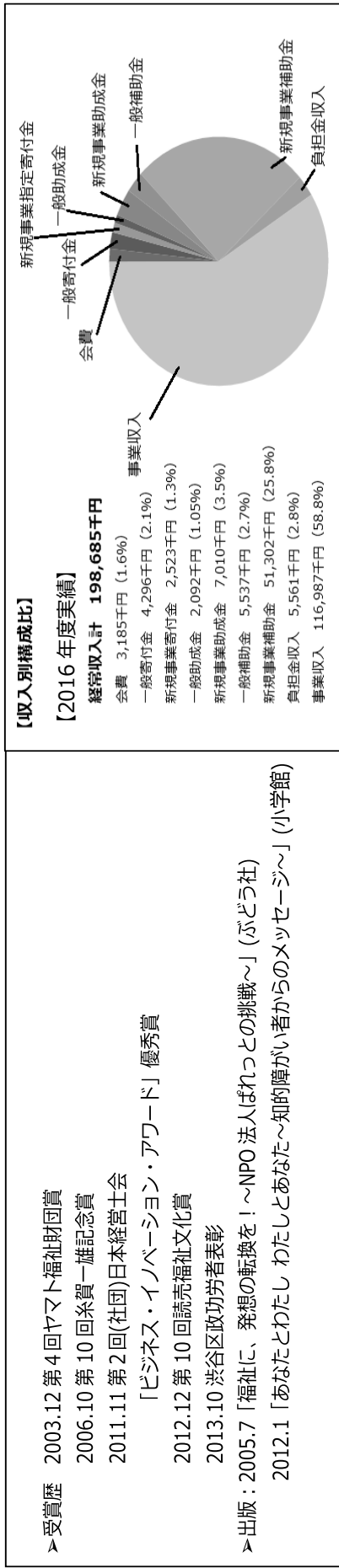
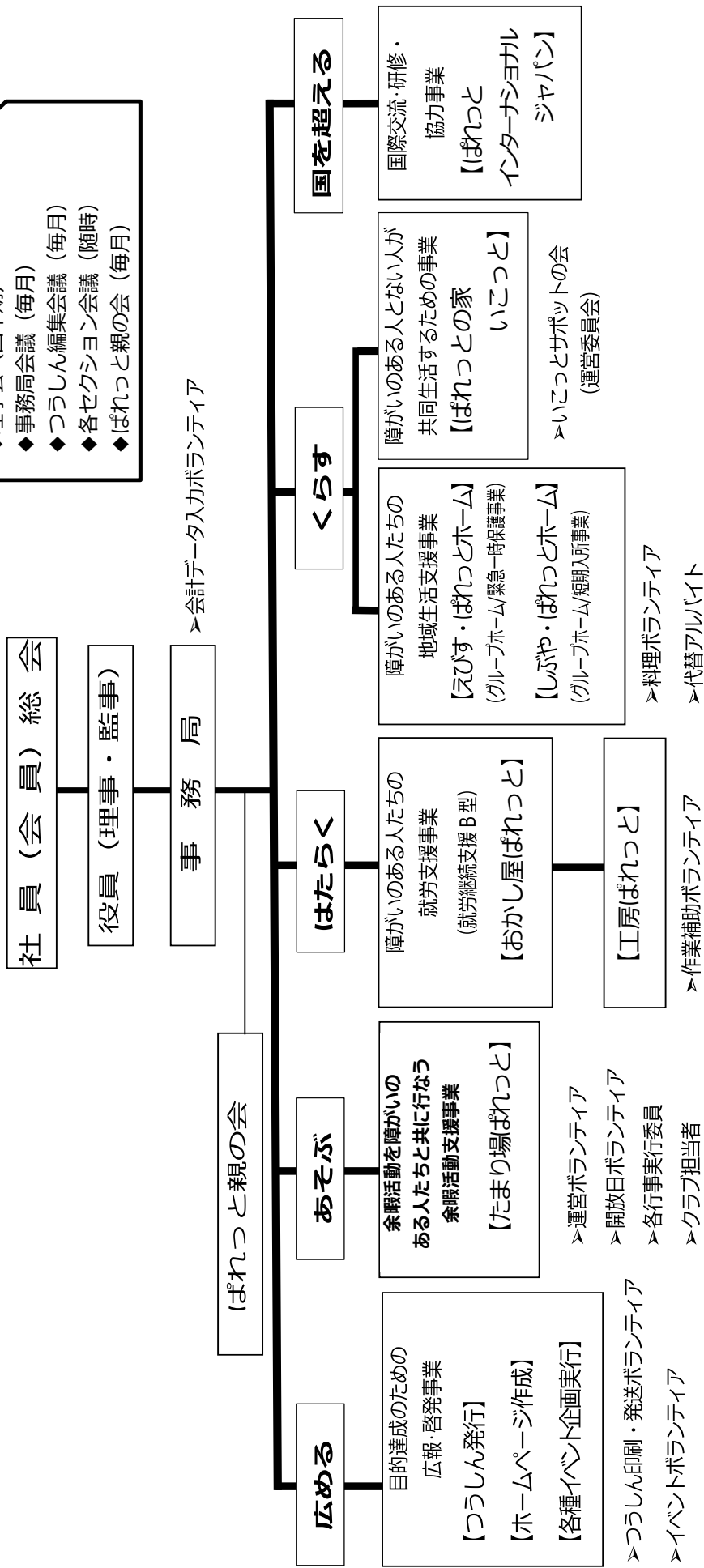
➤住 所：〒150-0011 東京都渋谷区東 2-11-4

➤電話/FAX 番号：03-5766-7302 / 03-3409-3790

●認定 NPO 法人取得について

ぱれっとは 2013 年 7 月 10 日、東京都より「認定 NPO 法人」としての認定を受けました。当団体への 2000 円以上のご寄付は、**税金の優遇対象となります (企業の場合は特別損金計上)**。詳しくは認定 NPO 法人ぱれっと事務局 (03-5766-7302) にお問い合わせ下さい。

【認定 NPO 法人ぱれっとの組織構成と事業を支える人たち】



たまり場ぱれっと (1983年7月設立)

【歴史】 たまり場ぱれっとは、えびす青年教室（渋谷区教育委員会実施）に集う障がいのある青年達の、人間関係や生活圏の狭さに疑問を感じたボランティア有志が「日常的に安心して集える場を地域につくろう」と呼びかけ、1983年に誕生しました。障がいのあるなしに関わらず、余暇プログラムを通して仲間づくり、友達づくりを行なうことをモットーに月1回の開放日と、各種クラブ活動を原則として、様々な行事の企画運営をしています。さまざまな人や個性が光る場、参加者が自主的に主体的に活動を創造できる場を目指しています。

【活動日時】 開放日：毎月1回日曜日に開催 10:00～16:00
たまり場ミーティング絆：毎月1回土日に開催
クラブ活動：平日夜、または土日を利用して随時開催

【活動内容】 ●たまり場ぱれっとの情報紙「Let's Go!」とホームページで情報発信
●開放日：毎月1回開催（学生・社会人の運営ボランティアが企画実行。毎月40人程が参加）
●たまり場ミーティング絆：障がいのある参加者本人が主体になり、イベント企画や勉強会を実施
●クラブ活動：ティーボールクラブ、外国語を学ぶクラブ、パソコン教室、ヒップホップダンスなど、障がいのある参加者自らが中心に企画実行
●年間行事（雪あそび合宿2月、プチ・バカンス8月、ティーボール大会等）
●ボランティア研修（講演会、勉強会、交流会等）

【スタッフ】 非常勤1名、運営ボランティア7～8名（社会人・学生）

【利用者数】 150～180名（年間）（内、ボランティア数：100人）
※基本的には、18歳以上の方を対象としています。
※ボランティア、参加者共に、随時募集しています。

【運営資金】 プログラムにかかる経費は、「参加費」という形でいただき、ボランティア、障がいのある参加者含め、全員で一律同額をシェア。ただし、スタッフ人件費を含め、「運営に関わる経費」は主にぱれっと会員からの会費収入と寄付金、助成金（公的な資金援助はありません）で賄っています。

【運営体制】 「運営ボランティア」と呼ばれる人たちが企画にあたっています。運営ボランティアは様々な企画の運営全般に関わり活動をリードします。隔週木曜日の夜、月に一度土曜日に集まり、イベント運営会議を行なっています。その他、開放日やクラブ活動の当日に参加して活動を盛り上げる一般ボランティア、宿泊等の大きな行事の企画運営に関わる実行委員ボランティアが活動をサポートし、参加者の声を形にしています。また、職員はぱれっとの理念をもとに、たまり場を利用する全ての人たちが安全に安心して活動に参加できるよう、活動全体を把握しながら助言やアドバイスをしています。

○【運営ボランティアのイベント運営会議】

- ・ 隔週木曜日 19:30-21:30 月1回土曜日（時間不定） ・ 場所：恵比寿
- ・ 企画内容：毎月行なわれる各種イベント、クラブ活動（ダンス教室、パソコン教室など）、年2回の宿泊行事、勉強会や交流会など

【連絡先】 たまり場ぱれっと 職員 吉岡（よしおか） 住 所：東京都渋谷区東2-11-4 TEL：03-5766-7304 FAX：03-3409-3790 Eメール：tamariba@npo-palette.or.jp / URL：http://www.npo-palette.or.jp/tamariba



主な活動内容と活動日

	名称	日程	内容
通常活動	開放日	毎月1回日曜日開催 10:00~16:00	お花見、ラーメンツアー、料理教室、各種パーティー、カラオケ、遊園地、散歩、ゲームやおしゃべりなど内容多彩。
	クラブ活動	通年	ティーボールクラブ、パソコン教室、ヒップホップダンス教室など、やりたい人達を中心に企画運営しています。もちろんどなたでも参加できます。
	たまり場ミーティング絆	毎月1回土日 10:00~15:00	障がいのある参加者自身が主体となり、様々なイベント企画や勉強会を開いています。過去の勉強会例：親亡き後の暮らしを考える、障害者権利条約を学ぶ、仕事について語ろう 等
宿泊行事	プチ・バカンス	8月もしくは9月	毎年大人気のプログラム、一晩一緒に過ごせば、もう兄弟同然!?
	えびす雪あそび合宿	2月	バス2台80名前後で開催中!

ボランティア募集 『ボランティアの役割と職員の役割』

障がいのある人に対して何かをしてあげるのではなくて、良い関係作りを通して互いに学びあいながら、苦手なところをフォローする、そんなボランティアを求めています。

充実した余暇活動の企画立てや余暇プログラムと一緒に過ごす中で、様々な気づきや発見があります。それは障がいそのものについてかもしれないし、自分自身についての発見かもしれません。余暇プログラムを通して障がいのある方と仲間作りをすること、関係を作りつなげることがたまり場ボランティアの役割といえるでしょう。

職員はぱれっとの理念をもとに、たまり場を利用する全ての人たちが安全に安心して活動に参加できるよう、活動全体を把握しながら助言やアドバイスをしています。

『活動への関わりは大きく分けて3種類』

自分の時間やかかわり方を自分で決めて活動に参加していただきます。

運営 ボランティア	関わる仲間たちの人間関係を大事にしながら、企画立案、実行の中心となり、活動を充実させる
一般 ボランティア	開放日やクラブ活動の当日に参加して、それぞれのセンスで活動を盛り上げる
実行委員 ボランティア	宿泊行事など、大きな行事の企画運営に関わる

●その他：各種クラブ活動の専属ボランティアも随時募集しています。

●法人全体でのイベントも随時行なっています。毎年1回、100名以上のボランティアとともに開催するイベント『ぱれっと福祉バザー(10月中旬)』をはじめ、各種チャリティイベントがあり、随時ボランティア協力の情報を流しています。

『活動前に行なうオリエンテーション』

納得して活動に入っていただくために、見学を兼ねた事前オリエンテーションを行ないます。写真を見ながらの活動紹介、注意事項、緊急時の対応など、一つ一つ確認していきます。基本的に木曜日のPM6時45分~7時30分オリエンテーション。7時30分からはたまり場運営会議に参加してもらいます。(木曜以外は日程調整。応相談)

福祉作業所おかし屋ぱれっと / 工房ぱれっと

(1985 年 4 月開所)

(2013 年 4 月開所)

施設形態：障害者総合支援法に基づく就労継続支援 B 型事業（2013 年 4 月移行）

Tel&Fax 03-3409-3774

E-mail :okashiya@npo-palette.or.jp(おかし屋ぱれっと) / koubou@npo-palette.or.jp(工房ぱれっと)

Web :http://www.okashiya-palette.or.jp

■通所員の状況

○人数：19 名

10 代 1 名、20 代 9 名、30 代 4 名、40 代 4 名、50 代 2 名／男性 6 名、女性 14 名
(おかし屋ぱれっと 13 名、工房ぱれっと 7 名)

○採用条件：愛の手帳を所持、原則として自力通所ができ身辺自立が可能であること
(トイレ・食事・衛生管理)

■スタッフ

常勤職員 5 名、作業ボランティア 3 名

(サービス管理責任者 1 名、所長 1 名、工賃向上計画担当スタッフ非常勤 1 名)

■作業種目

おかし屋ぱれっと ○クッキー・ケーキ・グリッシーニ・スコーン

○軽作業（クッキーパッキング、包装、箱折、乾燥剤入れその他）

工房ぱれっと ○髪留め・ぬいぐるみ・雑貨等縫製品

■労働条件

勤務時間：月～金曜日 おかし屋ぱれっと 9:00～16:30

工房ぱれっと 9:30～15:30

夏期・冬期休暇、賞与・退職金あり

■作業工賃

時給計算 利用者月平均工賃 43,000 円（賞与・残業代含む）

■作業所の特徴

○自主製品を作り、製造から販売まで一貫した仕事

○通所員にとって作業工程が理解しやすいレシピの工夫

○企業と同様に利益を追求し、従業員の労働条件を整備

○企業へも就労できるように援助 *企業就労実績：スターバックス、渋谷郵便局

○企業とのつながりをつくり訪問販売

○通所員一人一人に合った仕事の選択

■組織運営

○売上 年間

27,473,374 円(平成 28 年度)

○平成 28 年度 渋谷区補助金 3,532,885 円 訓練等給付費 35,113,853 円

○会議

・ぱれっと親の会（毎月第 1 木曜）、各セクション事務局員会議（月 1 回）

・おかし屋職員会議（週 1 回）・通所員個人面談(1 回)・父母面談(年 1 回)

えびす・ぱれっとホーム

(1993年8月開所)

1. 基本コンセプト

- ・ 知的障がい者対象のグループホームと短期入所、渋谷区在住者対象の緊急一時保護事業の運営
- ・ 暮らしの場は安らぎの場であることを基本理念に、共同生活での様々な経験を通し、地域の中であたり前の暮らしを目指す

2. 概要

○所在地：①えびす・ぱれっとホーム/グループホームと緊急一時保護事業

〒150-0011 東京都渋谷区東 3-14-5

TEL&FAX 03-3407-6070 携帯 090-3699-7100

②しぶや・ぱれっとホーム/グループホーム しぶや・ぱれっとホーム SS/短期入所

〒150-0011 東京都渋谷区東 2-11-4

TEL/FAX 03-6821-4977/03-6821-4978

E-mail ep-home@npo-palette.or.jp Web <http://www.npo-palette.or.jp>

○事業内容

＜共同生活援助事業（グループホーム 指定障害福祉サービス事業）＞ 利用者：定員 13 名

原則として渋谷区に住所を有す知的障がい者、就労者（見込み者含む）

身の処置ができ、社会的自立に意欲がある方

利用料：55,000 円／月（内訳：家賃 2 万円、食費 3 万円、水光熱費 5 千円）※光熱費 8 月改定予定

特定障害者特別給付費 10,000 円家賃補助があり、本人負担は 45,000 円

＜緊急一時保護委託事業(渋谷区委託事業)＞ 利用者：定員 2 名

渋谷区在住の知的障がい児・者 6 歳以上

利用料：なし 実費負担有（食費 1 食 5 0 0 円 おやつなど）

* 利用希望者は渋谷区障害者福祉課にて利用申請登録が必要です

＜短期入所(ショートステイ)＞ 利用者 定員 1 名

障害福祉サービスの短期入所支給決定を受けている方

利用料：利用者・扶養義務者の所得などに応じて 1 割負担。実費負担有（食費 1 食 5 0 0 円）

○スタッフ：専従職員 8 名（施設長：菅原睦子 サービス管理責任者：姫崎由美）

代替アルバイト 1 5 名登録 料理ボランティア 1 4 名登録

3. 組織運営

61,305,495 円／年（2016 年度実績）

○介護給付費他・・・・・・・・・・ 32,014,879 円（グループホーム）

○介護給付費他・・・・・・・・・・ 1,112,371 円（短期入所）

○渋谷区補助金・・・・・・・・・・ 2,004,706 円（グループホーム）

○渋谷区委託金・・・・・・・・・・ 17,305,598 円（緊急一時保護事業他）

○利用者負担金収入・・・・・・・・ 5,651,411 円（緊急一時/グループホーム本人利用料）

○その他・・・・・・・・・・ 3,216,530 円（整備費補助金、助成金、寄付金等）

4. 変遷

1993 年 1 月 ぱれっとホーム(仮称)プロジェクト会議設立

1993 年 8 月 えびす・ぱれっとホーム開所

2009 年 4 月 障害者自立支援法 共同生活介護（グループホーム）の指定事業者となる

2014 年 4 月 障害者総合支援法の制度改正により、グループホームへ一元化

2016 年 8 月 短期入所開設、グループホームユニット増「しぶや・ぱれっとホーム」

ぱれっとの家 いこっと

(2010年4月設立)

1. ミッション

～障がいのある人もない人も安心して暮らせる家をつくる～

- ①障がいのある人も、自分の力で暮らせる家です
- ②一人ひとりが個室を持ち、共用のキッチンとリビングがあります
- ③入居者同士のコミュニケーションを大切に、自分たちで住まい方を作っていく家です

2. 概要

- ◆住 所：東京都渋谷区東3丁目（「恵比寿」駅より徒歩約8分）<http://ikotto.npo-palette.or.jp/>
- ◆建物概要：木造（2×4工法）、地上3階建て、居室数：8室
- ◆建築費：約3700万円（土地は無償で提供。建物はオーナーが建て、ぱれっととサブリース契約を結んでいる）
- ◆面積：敷地面積：約106㎡、延床面積：約169㎡
- ◆居室広さ：各室約6畳（収納スペースを除く）
※浴室・シャワー・トイレ・洗面・洗濯機は共用。
※1階に約19畳の共用キッチン・リビング・ダイニング（通称“いこ間”）あり
- ◆家賃等：家賃6万2千円～6万5千円、敷金2ヶ月、礼金なし
※水光熱費、生活備品は入居者で均等割り
- ◆入居状況：平成29年6月現在・・・4名（障がい者2名、健常者2名 30代～50代）
- ◆入居条件：原則就労して日常生活を自立して行なえる方。いこっとの理念に賛同する方。年齢不問。
- ◆サブリース契約：2010年4月より、サブリース契約をオーナーと結んでいる。空室保証あり。

3. 運営体制

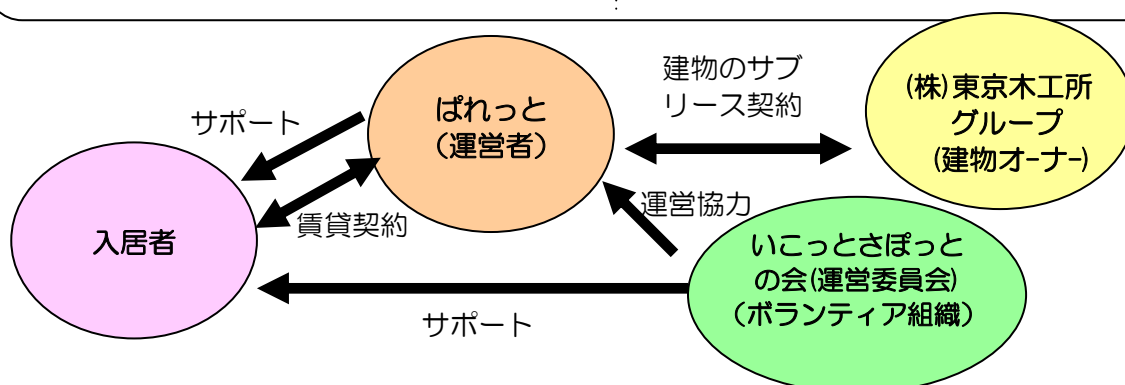
- ◆(株)東京木工所グループとぱれっとで建物のサブリース契約を結び、ぱれっとと入居者で賃貸契約を結びます
- ◆計画段階の実行委員会・ワークショップに替わり、運営段階のために新たなボランティア組織として“いこっとさぼっとの会(運営委員会)”を設け、ぱれっとに協力し、運営をサポートします

【ぱれっとスタッフの業務】

- ①「いこっと」の自主管理の運営補助、支援業務
- ②居住者の相談窓口
- ③居住者退去時の検査立会
- ④家賃の収納管理
- ⑤鍵の保管
- ⑥「いこっと」の広報宣伝活動
- ⑦契約書作成業務

【いこっとさぼっとの会(運営委員会)の目的】

- ＜目的＞
 - ①ぱれっとと協力し、「いこっと」での暮らしをサポートする
 - ②「いこっと」の意義を社会に発信する
- ＜役割＞
 - ①入居者ミーティングへ必要に応じて参加、その他サポート（事業推進、管理）
 - ②広報、講演、事業に関する相談





ぱれっとの家いこっと

～障がいのある人もない人も安心して暮らせる家～

入居者募集中！

ご興味のある方は、右下にあるお問い合わせ先にご連絡ください。説明会も随時開催中です。



▼「いこっと」はどんな家？

1. 障がいのある人も、自分の力で暮らせる家です。
2. 一人ひとりが個室を持ち、共用のキッチンとリビングがあります。
3. 入居者同士のコミュニケーションを大切にし、自分たちで住まい方を作っていく家です。

▼建物について

- ▶ 住所：東京都渋谷区東三丁目 ※恵比寿駅徒歩7分
- ▶ 建物概要：木造（2x4工法）
地上3階建て（居室数：8室）
- ▶ 延床面積：約169m²
- ▶ 居室広さ：各室約6畳（収納スペースを除く）
- ※浴室・シャワー・トイレ・洗面・洗濯機は共用。
- ※1階に約19畳の共用キッチン・リビング・ダイニング（通称“いこ間”）あり

▼家賃等

- ▶ 家賃：6万2千円～6万5千円、敷金2ヶ月、礼金なし
共益費5千円、水光熱費5千円、（入居時、更新時）、
共有備品1千円～2千円、保険料（別途）
- ▶ 入居条件：原則、就労していて日常生活を自立して行える方。年齢不問。

▼運営元 認定NPO法人ぱれっと

ぱれっとは、渋谷区恵比寿で、知的に障がいのある人たちを対象に、余暇活動支援（たまり場）や就労支援（クッキー製造販売・軽作業等）、生活支援（グループホーム）、国際交流活動を行っています。

▼お問い合わせ

- ▶ メール：ep-home@npo-palette.or.jp
- ▶ 電話：03-3407-6070
- ▶ 担当：菅原（すがはら）
- ▶ ホームページ：<http://ikotto.npo-palette.or.jp>

ホームページQRコード



支え合い 共生の家

障害ある人とない人と

スタッフなしで自立

軽度の知的障害のある人と障害のない人が一緒に暮らすことを条件にした「家」が、東京の真ん中に完成した。世話役のスタッフを置かず、住民の支え合いで自立を目指す珍しい試み。障害者の住まいの選択肢を増やし、多様な人がふつうに住む社会を目指したNPO「ばれっと」(東京都渋谷区)の宿願に、地元企業が一等地を提供した。

(菅田和華子)

渋谷に完成



入居が始まった「いこっと」。入居者たちは新生活に期待を膨らませる。東京都渋谷区東3丁目、菅田和子

家の名は「ばれっとの家いこっと」。渋谷区の東部、恵比寿駅から徒歩8分の場所にある。3階建てで、6畳程度の居室が八つ。台所や風呂などの水回りと居間、ダイニングは共有だ。洗濯機や冷蔵庫も備え付けをみんなで使う。今月中旬から知的障害者

2人と健常者4人が入居を始めた。ばれっとの活動に参加する障害者やボランティア、公募に応じた人たちが、知的障害のある人向けの共同生活の場として、これまでグループホームやケアホームがあった。だが、「いこっと」はこれらとは違い、家事などを助けるスタッフ

ではない。障害者も自分のことは自分でやる。ただし、突然の訪問者や電話対応など、苦手な状況に面したときは遠慮せず助けを求め、健常者も応えるのがルール。プライバシーを保ちながら生活の一部を共有し、補い合うコレクティブハウス(共生型集合住宅)の理念を参考に、障害

知的障害者の共同生活
ケアホームは、主に夜間に入浴、はいせつや食事などの介護をするスタッフを置く。グループホームも日常生活の支援などを行うスタッフを置くが、ケアホームより障害の程度が軽い人を想定した施設。「いこっと」が参考にした

コレクティブハウスは、住人個々の独立した住戸のほかに共有のキッチンや居間、庭なども持つ集合住宅を指す。障害者の自立支援と直接の関係はない。日本では阪神大震災の災害復興住宅として1997年に初めて公営で建設された。高齢者や一人親世帯が安心して住める環境として、研究が進んでいる。

者の自立を支える環境を目指すしている。

健常者の会社員男性(26)は、ばれっとが設けた知的障害者と健常者の余暇サークルに参加した縁で入居した。

「新しいことが好き。留学生の友人が暮らしやすそうとハウスに遊びに行った時、一体感や、にぎやかさがうらやましかった」と気負いがなかった。

いざ暮らしはじめてみると、平日は健常者の帰宅が遅い。夕食の用意に戸惑った障害者からの電話で、ばれっとのスタッフが買い出しに付き添ったことがあった。「慣れるために、最初だけ。今後は自分でしてもらおう」

最初の週末となった17日に、住人たちは初めて一緒に夕食を囲んだ。友人たちも招き、焼きそばを作ったという。

「施設に障害者だけ固まっている社会は不自然。いろいろな人がかわりあうことで生まれる活力は、地域再生にもつながる」

費用の壁 企業が一役

いこっとの敷地には、昨秋まで建築資材製造の「東京木工所」(本社・渋谷区)の社員寮があった。ばれっとの構想を聞いた同社が、寮を取り壊して新築し、大家になった。家賃は採算ギリギリの月7万円前後の設定で、一部は管理費としてばれっとに渡す。渋谷区は、低所得の障害

者が入居した場合に最高2万円を家賃補助するなど、独自の支援策を決めた。谷口理事長は、「地価の高い都市にハウスをつくるには、企業の協力を得るのが大切。協働のノウハウも自治体やほかのNPOに伝えて全国に広めたい」と話している。

う。次の週末には、掃除のルールや足りないと感じたものを全員で話し合う「入居者ミーティング」の時間を持つことにしている。

厚生労働省の2005年の調査では、地域で暮らし知的障害者の23%が軽度だ。ばれっとの谷口奈保子理事長によると、多くは親と住み、身寄りがなくなると、グループホームやケアホームに移る。

しかし、「少しの支えがあれば地域で自立する素質があるのに、親や施設職員が世話を焼きすぎて、自立の機会を奪っているケースがある」という。「施設に障害者だけ固まっている社会は不自然。いろいろな人がかわりあうことで生まれる活力は、地域再生にもつながる」

NPO法人ぱれっと 会員入会のご案内

ぱれっとは、障がいの有無に関わらず「誰もがあたり前に暮らせる社会」を目指し、多く方のご協力やご支援をいただきながら活動を続けています。継続して事業を行なうために、ぜひ会員になってぱれっとを支えてください。私たちにとって大切な『人』との出会いをこれからも求め、様々なアイデアや意見を重ねながら、新たなチャレンジをしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。以下会員制度の詳細です。

会員の種類と会費（2017年5月現在）

種別	会員の種類	年会費（4月～翌年3月）
正会員 （議決権あり）	A会員	一口 6,000円
	B会員	一口 3,000円
	マンスリーサポーター	1,000円～/月 × 12ヶ月
賛助会員 （議決権なし）	個人賛助会員	一口 10,000円
	法人賛助会員	一口 30,000円

* 初年度は、入会月から翌年3月までの月割りでご入金いただきます（マンスリー会員を除く）。※例）6月入会の場合、6月～翌年3月までの10ヶ月分を入金

* A・B・賛助会員に関しては、郵便局の自動引き落としがご利用いただけます。

詳しくは2ページ目をご覧ください

会員特典

- ①情報誌「ぱれっとつうしん」を年6回お届け（原則として奇数月）
- ②イベント情報や行事報告を、チラシや「ぱれっとつうしん」でお届け
- ③ぱれっとの書籍、DVD：A会員・B会員・マンスリーサポーターは1割引
- ④イベント参加費：A会員、B会員・マンスリーサポーターは1割引
- ⑤おかし屋・工房ぱれっとの商品：A会員、B会員、マンスリーサポーター、は1割引
- ⑥たまり場ぱれっとの宿泊行事：A会員、B会員、マンスリーサポーターは1割引
- ⑦A・B会員及びマンスリーサポーターは総会時の議決権を持ちます

* 総会時期：毎年5月（注意：賛助会員は総会時の議決権を持ちません）

※ぱれっとは2013年7月10日に「認定NPO法人」になりました。当会に頂くご寄付（会費は対象となりません）は、確定申告により「税額控除・所得控除」の対象となり、皆様が国に払う税金が安くなる場合があります。なお、賛助会員の皆様の会費には同じ控除が適用されます。

お問い合わせ

【担当】事務局長 南山達郎

【住所】〒150-0011 渋谷区東2-11-4

【Tel】03-5766-7302（月～金 10：00～18：00 ※祝日・休業日を除く）

【Fax】03-3409-3790 【E-mail】palette@npo-palette.or.jp

【URL】<http://www.npo-palette.or.jp>

入会手続き

下記のいずれかでお申し込みください。※原則として郵便局での手続きをお願いしております。

■ <郵便局より会費を入金>

郵便振替にて支払いを希望する場合は、郵便局備え付けの「振込取扱票」に、1.希望する会員の種類、2.お名前、3.住所、4.電話番号

を明記の上、以下の口座にお振込みください（恐れ入りますが振込手数料はご負担ください）

【郵便振替口座】

口座番号：00110-7-18294

口座名：特定非営利活動法人ぱれっと

振替用紙についている領収書を、会費領収書とさせていただきます

【他金融機関からのご入金について】

他金融機関からのご入金も可能です。その際はお手数ですが、下記までご連絡をお願いいたします。

認定 NPO 法人ぱれっと事務局 担当 事務局長 南山達郎 03-5766-7302 palette@npo-palette.or.jp

■ <郵便局より自動引落とし> A、B、賛助会員希望者が対象となります

会費を払い込むために郵便局や銀行へ行く手間が省け、通帳にも記録が残り、払い忘れも防げて大変便利です。ぜひこの機会にお申し込みください

【確認事項】

* 利用開始は 2018 年度の会費からとなります。毎年 4 月 1 日に引き落とされます

(2017 年度分は既に手続きが終了しています)

* 会費は年会費とし、

・ A 会員の方は 1 口 6,000 円 ・ B 会員の方は 1 口 3,000 円

・ 賛助会員の方は 1 口 10,000 円が引き落とされます

* 引き落とし手数料は、ぱれっとが負担します

ご希望の方は、郵便局に備え付けの「自動払込利用申込書」に必要事項をご記入の上、お近くの郵便局へご提出ください。来年度分(2018 年 4 月)の会費から自動引き落としとなります。郵便局に口座をお持ちでない方は、郵便貯金の口座開設をお願いいたします。申込書はすべての郵便局に用意されています

■ <インターネットを利用> * マンスリーサポーターが対象となります

毎月 1000 円～で活動を応援する『マンスリーサポーター』をご希望の方は、下記インターネットより申し込みができます。キャッシュカードから毎月引き落としができるので、郵便局へ行く手間も、払い忘れもなく便利です。

【インターネット】下記のサイトを開きマンスリーサポーター(毎月寄付する)を選択。必要事項に記入してくだされば手続きできます。2 ヶ月ほど手続きに時間を要する場合がありますのでご了承ください。

<http://www.giveone.net/cp/pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=193>

F A X : 0 3 - 3 4 0 9 - 3 7 9 0

入会申込書

ご記入日： 年 月 日

ふりがな お名前		ご所属	
ご連絡先 ☐ ご自宅 ☐ 所属団体 ☐ その他 (ぱれっとつうしんの発送 先となります)	〒 電話 FAX E-mail		
ご希望する会員の種類（希望の種類にチェックしてください） ☐ A 会員(一口 6000 円) ☐ B 会員(一口 3000 円) ☐ 個人賛助会員（一口 10000 円） ☐ 法人賛助会員（一口 30000 円） (賛助会員は個人・法人とも税制優遇の対象となります) * 郵便振替（00110-7-18294）にて会費をご入金ください ☐ マンスリーサポーター * インターネットの手順に沿ってお申込みください。手続きに 2 ヶ月ほどかかる場合があります http://www.giveone.net/cp/pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=193			口数(一口以上)

◎ご質問、ご意見、事務連絡等

ご寄付のお願い

皆様からいただくご寄付は、私たちぱれっとの事業を支え、私たちが目指す「障がいのある人たちが当たり前で暮らせる社会」を実現する大きな力となります。ぜひご協力をお願いいたします。

ご寄付の方法

①会費納入と同じ方法で寄付する

入会のご案内でご紹介した入金方法でも、もちろん寄付を受け付けております。郵便局に備え付けの用紙にて、下記にお振込みください。なお、税制優遇の証明のため「寄付金受領証」を発行しますので、用紙には「寄付金として」と皆様のお名前・ご住所をお忘れなくご記入ください。

【郵便振替口座】

口座番号：00110-7-18294

口座名：特定非営利活動法人ぱれっと

【他金融機関からのご入金について】

他金融機関からのご入金も可能です。その際はお手数ですが、下記までご連絡をお願いいたします。

認定 NPO 法人ぱれっと事務局 担当 事務局長 南山達郎 03-5766-7302 palette@npo-palette.or.jp

②ほかの方法で寄付する

ぱれっとではこの他にも様々な寄付の方法をご用意しております。それぞれの方法につきまして、ご不明な点がございましたら、事務局長南山（03-5766-7302、palette@npo-palette.or.jp）までご連絡なくお問い合わせください。

◆Soft Bank 『かざして募金』



スマホをかざすだけで募金ができます。

(※) かざして募金アプリは下記でダウンロード（無料）

Available on the App Store

ANDROID APP ON Google play

ソフトバンクのスマートフォンをお持ちの方

①「かざして募金」のソフト（アプリ）をダウンロード（※）
②ソフトを起動後、左のぱれっとマークにかざす。
③ぱれっとの寄付ページで金額を選択 **完了！**
※パソコンからはこちらへ↓
<http://ent.mb.softbank.jp/apl/charity/sp/select.jsp?corp=181>

ソフトバンク以外のスマートフォンをお持ちの方

①「かざして募金」のソフト（アプリ）をダウンロード。
②ソフトを起動後、左のぱれっとマークにかざす
③ぱれっとの寄付ページで決済手続きなど必要事項を入力後、金額を選択 **完了！**
※パソコンからはこちらへ↓
<http://ent.mb.softbank.jp/apl/charity/sp/creditSelect.jsp?corp=181>

※税制優遇を受けられる「寄附金受領証」も発行可能です。

◆ **Good do** (クリック募金/お買い物募金)

スマホでできる支援！
gooddo
グッドウ



① <http://gooddo.jp/gd/group/palette/> にアクセス

② 応援する！

このボタンをポチッと押すと、無料で
ぱれっとをご支援いただけます！

一日一回ぽれっとの応援をよろしくお願いします!毎日できます!パソコンからもポチッとできます!

☆☆



① 上記アドレスにアクセス

②



このボタンを押して、楽天のサイトを訪問、
そこで買い物をする、合計の一部がぱれっ
とへの寄付になります。

それぞれのお買い物には**料金が発生**します。ご注意ください。合計金額の一部がポイントへの
寄付金となります。ネットショッピングを良く使われる方はぜひご利用ください!

☆☆

◆BOOK募金



BOOK 募金は、ご家庭で不要になった、本、CD、ゲームなどを業者が買い取り、その買取金額がぱれっとの寄付になるというシステムです。10 点以上は送料無料（着払い送付になります）、電話一本でご自宅まで運送業者が回収に伺います。また、寄付金額については税制優遇の対象となり、寄付金受領証を発行いたします。

お申込みは・・・ぱれっと BOOK 募金専用ホームページ <http://bookbokin.jp/?p=1272> ヘアクセスするか、
お電話 0120-102-150 (株式会社プレジャーワークス) にて。

◆PayPal（クレジットカードによる寄付）

クレジットカードをお持ちの方は、インターネットからも手続きしていただけます。銀行などに行く手間が省け、簡単にご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

インターネットアドレス <http://urx3.nu/umnE>

すべての寄付についてのお問い合わせは・・・

認定 NPO 法人ぱれっと事務局 担当：事務局長 南山達郎 TEL03-5766-7302 Fax03-3409-3790

E-mail : palette@npo-palette.or.jp web: <http://www.npo-palette.or.jp>

ぱれっとのホームページでも寄付の方法について紹介をしています。よろしくお願いします。